

助け合って生活するために地域の^{ちいき}一員としてどのようなことができるのでしょうか。

東日本大震災では、住む家を失ったりライフラインが止まったりしたために、宮城県^{みやぎけん}だけでも約32万人が避難所^{ひなんじょ}で生活をしなくてはならなくなりました。避難所では、そこに集まった人たちで生活のためのルールをつくり、助け合いながら生活しました。

**知っ
て
おこ**

避難所では、このような仕事がありました。



写真提供：南三陸 佐藤信一氏

▲食事の配給



写真提供：たがじょう見聞

▲掃除



▲受付



▲物資の搬入

**話
し
合
い
の
み
よう**

今までに学校や家庭で学んできたことや^{けいけん}経験してきたことが、きっと避難所での生活にも生かせることでしょう。

どのような場面で、どのような^{やくわり}役割を果たすことができるか話し合ってみましょう。